

人材戦略（風土改革）－ 人事部長メッセージ －

人的資本経営に向けた人材戦略の強化



人事部長
岩崎 傑司

人間尊重の経営に基づく人材戦略

当社グループでは、社員を「人的資本」と捉え、企業価値の向上に欠かすことのできない重要な存在であると考えています。社員一人ひとりの能力向上と、成長を支援する組織・風土づくりを通じて、持続的な企業価値を目指しています。

中期経営計画「Growing Together 2026」では、「社会課題の解決」をテーマに重点施策を推進しておりますが、マーケットアウトの考えを実践し、つなぐイノベーションにより社会課題の解決に貢献するという当社グループのビジョンを実現するために、人材戦略は非常に重要な位置づけとなります。

マーケットの潜在的な課題を発見・分析し、取引先の皆様とも共感し密に連携を取りながら、専門性と実行力で課題解決策を推進していくのは「人」の力です。社員が個々の能力を高め、相互の役割認識と連携を通じてチーム全体のパフォーマンスを最大化することで、「つなぐ」イノベーションが常態化し経営戦略として掲げている目標も達成し得るものと考えています。

私たちは、社員の成長が企業の成長につながり、企業の成長が更なる社員の成長機会を生み出す好循環を目指していきたいと考えています。

当社グループの求める人材像

当社グループでは、企業理念、ユアサビジョン、ユアサバリュー（社員に求める行動指針）に則り、求める人材像を「取引先の課題及び社会課題の解決に貢献できる人材」「相手の立場で物事を捉え、自分との違いや多様性を尊重できる人材」としています。

現在の中期経営計画では、社員全員が「総合力」「チャレンジ」「コミュニケーション」の発揮を意識し、社会課題を「つなぐ」イノベーションにより解決することを目指しています。

イノベーションを継続的に生み出すためには、社員一人ひとりの成長が不可欠となります。また、お互いを尊重し誰もが安心して発言できる風土、そして失敗を恐れずチャレンジできる

風土が極めて重要であると認識しており、これらが変革のベースとなると考えています。現在推進している人事制度改革と企業風土改革により、人事的側面から「つなぐ」イノベーションの常態化に貢献し、ステークホルダーの皆様が必要とされる企業になることを目指します。

求める人材像の実現、そして社員一人ひとりの持続的な成長のため、今後も当社グループは人的資本である社員へ適切に投資してまいります。そして、人と組織がともに成長し続ける環境をベースに、持続的な企業価値向上を目指していきたいと考えています。

企業理念・ビジョン・バリュー・求める人材像

